

—平成 27 年 12 月 31 日以前に当科において腹腔鏡下切除を受けられた方へ—

「腹腔鏡下肝切除の安全性に関する検討 ～後ろ向き多施設共同研究」

へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学病院 肝・胆・膵外科
研究機関長 岡山大学病院長 槇野博史
研究責任者 岡山大学病院 肝・胆・膵外科 助教 榎田祐三
研究分担者 岡山大学病院 低侵襲治療センター（肝・胆・膵外科）助教 吉田龍一
岡山大学病院 臓器移植医療センター（肝・胆・膵外科）助教 信岡大輔

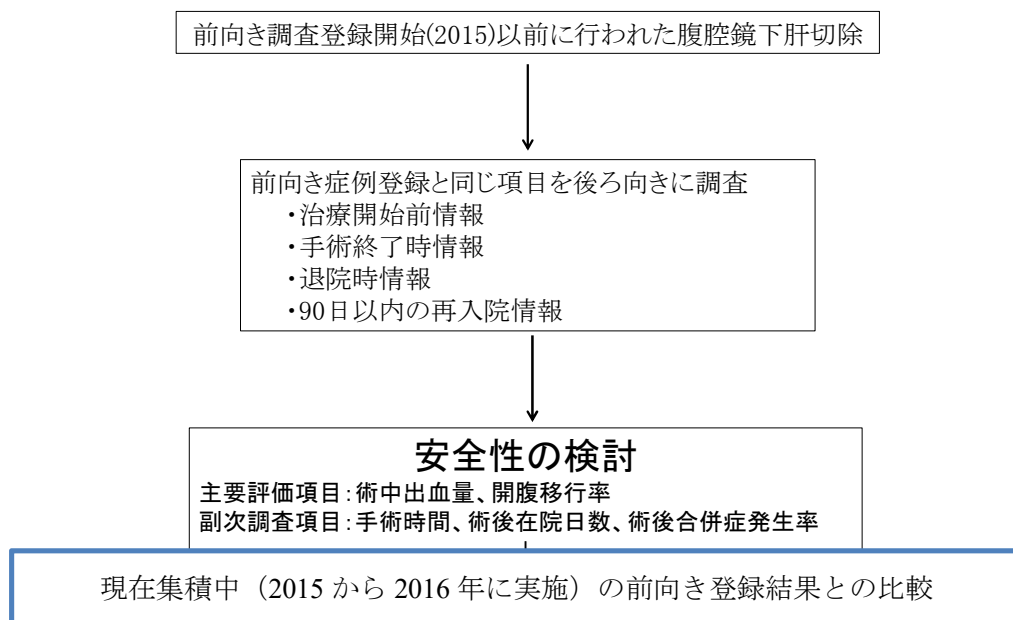
1. 研究の概要

1.1 目的

症例調査票を用いて腹腔鏡下肝切除術の安全性を多施設共同研究により評価することです。

1.2 方法

カルテに記載された情報を基に、治療開始前情報、手術終了時情報、退院時情報、90 日以内の再入院情報を調査票にて調査し、手術の安全性を評価します。



1) 研究対象者

平成 27 年 12 月 31 日以前に岡山大学病院肝・胆・膵外科において腹腔鏡下切除を受けられた方 20 名を研究対象とします。

2) 研究期間

平成 28 年 9 月岡山大学研究倫理審査専門委員会承認後～平成 28 年 12 月 31 日

5)使用する情報

研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報
は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、 治療前の情報、手術情報、退院時情報、退院後 90 日以内の情報

6)試料・情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後 5 年間保存させていただきます。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、岡山大学病院肝・胆・膵外科のホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

7)情報の保護

調査情報は岡山大学病院肝・胆・膵外科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

8)研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成 28 年 11 月 30 日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 肝・胆・膵外科

氏名：榎田祐三

電話：086-235-7257（平日：8時30分～17時）

ファックス：086-221-8775